



江田島市

議会だより

〈元衆議院議長 灘尾弘吉 著〉

2005.2.1 創刊号



羽ばたけ新成人

〈平成17年1月10日 江田島市成人式〉

主な内容

正・副議長就任あいさつ…………… 2・3
議会構成決まる

初議会（臨時会）…………… 4
主な議案の概要

平成16年12月定例会…………… 5

一般質問 Q&A…………… 6

就任あいさつ



議長 田中 達美

去る11月18日の臨時議会において、議員の皆様方のご推挙をいただき、初代江田島市議会議長の要職に就任させていただきましたことは、身に余る光栄でありますと共に、その責任の重大さを痛感する次第でございます。

もとより浅学非才ではありますが、議員の皆様のご指導ご鞭撻をいただき、多様化する市民のニーズに応えるよう、また、住民福祉の向上をめざし、「合併して良かった、江田島市に住んで良かった」と言われるよう、市民・議会・執行部と共に、新生江田島市の発展と豊かな市（まち）づくりに全力投球して頑張る所存です。

つきましては、市民の皆様にもご理解とご協力を心からお願い申し上げまして、就任のごあいさつといたします。

就任あいさつ



副議長 西中 克弘

去る11月18日の臨時議会で、不肖私が議員各位のご推挙により副議長に就任いたしました。責任の重大さに身の引き締まる思いであります。もとより浅学非才ではありますが、市政発展のため市議会が公正、円滑なる運営ができるよう誠心誠意努力をいたします。

本市も少子高齢化が進み、経済不況による税収入の減少、さらに補助金・地方交付税の削減など、市の財政は厳しい状況下であります。

微力ではありますが、住民福祉と生活を守るため、全力で取り組んでまいります。皆様のご指導とご鞭撻をお願いし、ごあいさつといたします。

新たな議会がスタート!!

合併後初議会となる第1回臨時議会が平成16年11月18日と19日の両日、議会棟となつている江田島市農村環境改善センターで開会されました。11月1日の江田島市誕生後初めて開かれたもので、正副議長の選挙や常任委員会・議会運営委員会の委員の選任など議会の組織づくりを行いました。

初日の18日には、出席議員の中で年長の道口昭信議員が臨時議長を務め、議長に田中達美議員が当選しました。

この後、田中新議長に交代し、議事が進められ、初めに議員発議による「江田島市議会会議規則の制定について」外3件を議題とし、原案どおり可決

しました。次に、副議長の選挙が行われ、西中克弘議員が副議長に選ばれた後、常任委員会・議会運営委員会・議会広報特別委員会の各委員と正副委員長を選任しました。続いて呉広域行政事務組合議会議員の選挙を行った後、議会推薦の農業委員を決定しました。

常任委員会構成決まる

総務委員会 (11人)

所管事項：総務部、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会及び消防の所管に関する事務並びに他の委員会に属さない事務

委員
山本 信勝
上田 正
津田 紘
鎌田 彰
廣田 夫
登地 靖
浜西 金満
梅比良 達
田中 美

文教委員会 (10人)

所管事項：教育委員会の所管に関する事務

委員
住岡 淳一
和田 敏
加藤 隆
吉岡 憲
山中 孝
大山 博
大谷 健
部谷 勝
胡子 弘

厚生委員会 (10人)

所管事項：市民生活部、福祉保健部、福祉事務所の所管に関する事務

委員
石下 洋
古本 眞
新家 二
大石 秀
寺西 昭
部家 正
久保田 信

議会運営委員会 (10人)

議会の日程や運営などを協議したり、審査・調査をします。

委員
道口 昭
榎原 弘
榎谷 義
梶川 明
川野 久
才野 健
小西 治
倉田 光

産業委員会 (11人)

所管事項：産業部及び農業委員会の所管に関する事務

委員
山根 啓
道丹 昭
太刀掛 久
林平 光
片平 久
西口中 弘
水口 直
山本 大
沖元 洋

議会広報特別委員会 (10人)

委員長の住岡淳一、副委員長の浜西金満

委員
山根 啓
太刀掛 眞
古本 義
扇谷 照
津田 紘
小西 明
大谷 俊
山中 博
山方 孝

建設委員会 (10人)

所管事項：土木建築部及び企業局の所管に関する事務

委員
伊藤 基夫
木戸 勝
山本 郁
山崎 悦
柳本 章
大田 俊
沖方 治
堀三 千夫

呉広域行政事務組合議会議員 (4人)

委員
梅比良 三千夫
堀三 千夫

委員
梅比良 三千夫

農業委員会委員 (4人)

委員
木戸 勝
胡子 弘

委員
寺西 久
林光



初議会（臨時会）

— 主な議案の概要 —

● 発議

◎市議会会議規則の制定
市議会の会議を開くに当たっての基本的な項目を定め、会議の円滑な運営を図る。

◎市議会の議員の定数条例の制定
合併後1年間は在任特例を適用し、施行後最初の一般選挙は定数26人とする。

● 専決処分の承認

- 江田島市の設置に伴う、江田島市役所の位置を定める条例外189件の条例
- 平成16年度江田島市暫定予算（千円未満切り捨て）

◎市議会委員会条例の制定
常任委員会を3つ設置する。ただし、次の選挙までは5つの常任委員会とする。

◎市議会傍聴規則の制定
傍聴人の定員は50人とするなど、傍聴に關し必要な事項を定める。

◎市議会事務局設置条例の制定
江田島市議会に事務局を置くことを定める。

【特別会計歳出】

- ◎国民健康保険特別会計 18億9,000万円
- ◎老人保健特別会計 22億8,000万円
- ◎介護保険特別会計 15億2,630万円
- ◎住宅新築資金等貸付事業特別会計 7,770万円
- ◎港湾管理特別会計 2,880万円
- ◎漁港管理特別会計 250万円
- ◎公共下水道事業特別会計 10億800万円
- ◎農業集落排水事業特別会計 5億5,100万円
- ◎地域開発事業特別会計 2億7,450万円
- ◎教育振興奨学金特別会計 900万円
- ◎振興事業特別会計 10万円

【企業会計】

（それぞれ不足額は、損益勘定留保資金で補てん）

- ◎公共下水道事業（能美地区）会計

- 収益的収入 1億566万円
- 収益的支出 9,972万円
- 資本的収入 5億424万円
- 資本的支出 5億7,138万円
- ◎交通船事業会計
- 収益的収入 2億6,495万円
- 収益的支出 3億83万円
- 資本的収入 3億1,850万円
- 資本的支出 4億9,089万円
- ◎国民宿舎事業会計
- 収益的収入 1億5,708万円
- 収益的支出 1億4,033万円
- 資本的収入 0万円
- 資本的支出 1,877万円
- ◎水道事業会計
- 収益的収入 3億7,784万円
- 収益的支出 4億8,969万円
- 資本的収入 2億409万円
- 資本的支出 3億1,542万円

●合併に伴い、旧町単独で事務委託及び加入していたが、江田島市として再委託及び再加入した。

- ◎広島県との上水道管理事務委託
- ◎広島県との港湾管理事務委託
- ◎広島県との漁港管理事務委託
- ◎呉市とのごみ処理に關する事務委託
- ◎首戸町及び倉橋町との江田島市葬斎センターに關する事務委託
- ◎広島県土地改良事業団体連合会への加入

● 指定金融機関の指定

本市の公金の収納及び支払いの事務を取り扱う金融機関を、株式会社広島銀行とする。

● 町の区域の設定並びに町及び字の名称変更

字の名称の「大字」の文字を削除する。

平成16年12月定例会

平成16年12月定例会が、12月16日から27日まで、会期を12日間として開かれました。

初日の16日には、12月5日に江田島市の初代市長に就任した曾根薫市長の所信表明があった後、議員発議1件及び議案4件を原案どおり可決しました。続いて、選挙管理

委員会委員及び同補充員の選挙を行い、教育委員会委員・公平委員会委員・監査委員・固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

24日には、21人の議員が一般質問を行い、市長の考えをただした後、意見書（案）1件を議決し、散会しました。

教育委員会委員

- 大石 君枝さん（大柿）
- 正井 嘉明さん（江田島）
- 平岡 昭さん（能美）
- 佐々木 勉さん（沖美）
- 上口 淨さん（江田島）

固定資産評価審査委員会委員

- 糸曾 正氣さん（江田島）
- 今田 知二さん（能美）
- 桜井 忠温さん（沖美）
- 二矢川 敏郎さん（大柿）

公平委員会委員

- 小地原 巧さん（能美）
- 濱崎 一博さん（大柿）
- 三浦 保さん（沖美）

監査委員

- 栗本 勲二さん（江田島）
- 加藤 隆光さん（能美）

選挙管理委員会委員

- 加川 次男さん（江田島）
- 野間 毅さん（沖美）
- 大迫 敏夫さん（大柿）
- 御堂岡 勝敏さん（能美）

選挙管理委員会委員補充員

- 武川 幹務さん（江田島）
- 木戸出 五男さん（沖美）
- 平本 政子さん（大柿）
- 新宮 茂樹さん（能美）

可決した主な議案

- 【発議】市長の専決処分の指定
議会の権限に属する軽易な事項として、9項目を市長の専決処分に指定する。
- 職員団体の登録に關する条例の制定
職員団体の登録に關し、必要な事項を定める。
- 新たに生じた土地の確認及び字の区域の変更
深江漁港の公有水面埋立竣工認可により、本市の区域内に新たに土地が生じたことを確認し、字の区域に編入する。
- 相互救済事業経営の委託
新市設置に伴い、本市の所有する財産の火災、水災、震災その他の災害による損害に対する相互救済事業を、社団法人全国自治協会に委託する。
- 江田島町土地開発公社定款の一部変更
江田島市の設置に伴い、名称等定款の一部を変更する。

一般質問 Q&A

Q 記念に街路灯の設置を

梅比良 修 議員

A 議論・協議を重ねていく

市長

Q 21世紀の幕開けにあたり、江能4町の合併は避けて通れない時期で、市政の進路を問わず、議員・市民ともに行革に努め、新しい歴史の礎を築く時と考えます。江田島市立銀行を創設する時が来ていると思います。合併を祝って検討されたい。

A 市内には、銀行・郵便局ほか多くの金融機関があり、地域に必要な資金は提供され活用できると認識している。街を明るく防犯の一環として、市にふさわしい街路灯の設置を。新市の建設計画を進めていくなかで、議論を重ねていきたいと思っ

ている。農村地帯特有の地域で、消防車・救急車など通れない狭い道路の整備要望の促進を。防災上の観点から地元の要望を踏まえ、総合的な判断をしながら交通体系の整備に努めた



←街を明るく防犯に役

Q 選挙結果をどのように受けとめるか

沖元 大洋 議員

A 市民と共に頑張り、共に汗をかき、共に歩む

市長



↑市長選の開票風景

Q 市長選挙の結果ですが、投票率62・36%で、曾根候補は1万236票で当選されたが、市長は曾根でなくてもよいと考えた市民が約1万7、000人もいたこの事実をどのように受け止めているのか。

A 市長選挙の結果ですが、投票率62・36%で、曾根候補は1万236票で当選されたが、市長は曾根でなくてもよいと考えた市民が約1万7、000人もいたこの事実をどのように受け止めているのか。気象などの諸条件でこのような結果になった

Q 市の中心産業は、漁業・農業・小売業・土木建設業と考えるが、不況下と有事災害で青色吐息です。どのように考えるか。

A 地場産業の育成を中心に、無理のない施策をしていく。

Q 中学校の統合問題は

大方 俊治 議員

A 教育委員会に諮問して答申を

市長

Q 中学校は、能美町・大柿町は統合していますが、沖美町の沖中学校・三高中学校は遠隔地であり、統合の話は2回ありましたが、実現できませんでした。今後の中学校統合問題は、どのように考えているのか。

A 江田島市合併により、旧町の垣根がなくなり、通学も選択制になってくる。通学距離など、いずれにしても江田島市の基本的な考え方を整理する。12月28日に教育長の任命を行い、教育委員会に諮問を受けて検討する。

Q 江田島市立沖小学校は、平成17年度2学級複式で2名の講師が必要ですが、予算をつけるのか。

A 沖小学校では、平成17年度9名の児童が入学し、1年、2年は単式学級、3年・4年、5年・6年が複式学級で講師を2名採用し、市費で予算をつける予定である。



↑複式学級の授業風景



↑12月定例会で所信表明をする曾根市長

Q 新市長の抱負と理念は

山本 信勝 議員

A 住んでよかった、住みたい町づくり

市長

Q 市政を取り巻く環境は厳しく、財政の健全化、過疎対策、少子高齢化対策、行財政改革の推進、教育問題、さらに合併の効果がより一層確実に発揮され、江田島市建設計画をより適切に実行することなど、重要な政策課題が山積している。

A このような状況の中、初代市長就任の抱負と理念は。理念は、住民本位の民主的な肌に触れ合う政治、具体的には「住んでよかった 住みたい町づくり」を目標とし、50年余りの行政経験を生

かした「知恵と工夫と汗」をモットーに政治理念とする。抱負は、①「合併して良かった」と言われる町づくり②「安心で安全に暮らせる」町づくり③新市建設計画の計画的執行

④健全な行財政運営⑤分権型社会に対応できる行政システムの確立

Q 江田島市役所バス路線の新設は

津田 紘史 議員

A 当面は運行回数や乗り継ぎの改善で対応

市長

Q 島内陸上アクセスを
考える時、旧能美3
町相互のバス路線はあり
ますが、旧江田島町から
中町までの直通便があり
ません。今後、本庁へ向
けてのアクセスは、重要
になってきます。早急に
新設が必要と思われませ

が。

A 交通問題は、私の公
約の中にもあります
ように、市民の利便性が
向上するよう、バス・船
のより便利な運行を考え
るため、「総合交通政策」
を進めるための組織化を

図りたいと思っております。

路線新設については、
財政負担が伴い、今後、
公共の福祉、経済性のバ
ランスを考え、市民への
サービスの向上を図る必
要があるので、慎重な検
討を行うこととし、当面

は、能美バス・呉市交通
局の運行回数や乗り継ぎ
面の改善で対応していく
考えです。



↑能美バスの江南橋停留所

Q 強烈なイノシシ対策を！

登地 靖徳 議員

A 総合的な農地利用対策の中で推進

市長



↑捕獲されたイノシシ（沖美町是長）

Q 島の主産業であるみ
かんや稲作は、イノ
シシの出現により被害は
甚大で、農家は耕作の放
棄寸前にきているのが実
態です。
農業者の高齢化もあり、
これを機会に農業の廃業
者が増えることとなれば、

新生江田島市の農業は、
大変低迷することとなる
ので、強烈なイノシシ対
策を。

A 荒廃農地を家畜の力
を借りて、管理耕作
を行うなど、営農手法の
変革や集落のデザイン等、

土地利用法の工夫も視野
に入れた総合的なイノシ
シ対策及び土地対策を進
めていきたい。

①電気柵設置等への助成
②農地利用権設定への助
成

③放牧の奨励
④集落協定で農地保全
⑤中山間地域直接支払い
制度

Q 新市のコミュニティづくり支援策は

梶川 義明 議員

A モデル事業で考えている

市長

Q 新市のコミュニティー
づくり推進のための
支援策の展開はどのよう
に。

羅した各地域の代表者、
各層、各団体の方々を集
まってもらい、近隣社会
のふれあい、地域住民が
なすべき役割、行政の関
わりなど議論して組織化
を考える。地域なりに実
態はあるが、工夫によっ
て「協働」ができる知恵

が出るのではないかと。当
面、「ふるさとづくり推進
協議会」といった組織を
開催、皆様の生の声を聞
き行政としてどのような
サポートをなすべきかヒ
ントをいただきたい。
今後、市の全域に住民
自治組織が立ち上がり、

自発的な活動が活発に展
開されるよう、住民自治
組織の行う社会的な活動
に対し、補助を行ってい
くモデル事業を17年度か
ら考えていきたい。



↑女性会による花いっぱい運動



↑ゴミが漂着した長瀬海岸

Q 長瀬海岸のゴミ漂流物は

大石 秀昭 議員

A 皆さんの力を借りて清掃

市長

Q 長瀬海岸は江田島市
の観光の拠点ですが、
そこには漂流しているゴ
ミの山です。多くのリピー
ターが顔を曇らせ散策し
ている姿は見るにしのび
ません。能美町はこれま
で管理委託料として16
5万円予算計上したが、

今後、「行ってみたい町づ
くり」のための施策をお
聴かせ下さい。併せて、
岩風呂川宗崎下の河口付
近のゴミの漂着について
も対策を考えてほしい。

能美海上ロッジに海
浜清掃の管理委託を
しています。今年は大
型台風の影響によりカキ筏
の破損被害もあり、特に
ゴミの量も多いかと思
います。今後は、漁業組
や各種団体とも相談しな
がら、海浜清掃の実施に
ついて協議していきます。

Q 4町融和と自治組織の運営方針は

木戸 基夫 議員

A コミュニティの融和に向けて環境を整備

市長

Q 旧4町の融和を図るための方策と、自治組織の運営にどのような方針をお持ちか。

A 旧4町の融和を図るための方策と、自治組織の運営にどのような方針をお持ちか。また、各地域の状態を把握され、各支所を利用して、地域の活性化に努めてほしい。イベントには、全市から参加できるように、交通手段を確保するなどの配慮をお願いしたい。

また、自治組織の運営については、旧自治組織の活動を尊重しつつ、将来的には統一を図りたい。そのために、自治組織が主体的に議論ができる環境を整え、その議論に加わりたいと考えています。



↑協力し合って古紙リサイクル活動をする区民

Q 早急に「イノシシ被害対策協議会」を

山本 郁男 議員

A 各方面で組織化を図る

市長

Q 西能美地区は、イノシシ被害が年々拡大してきており、農作物を作物としても収穫ができないという現状が起き、就農意欲を無くしています。

また、中町・高田地区においては、民家の近くまでイノシシが出てきていて、高齢者や子どもたちに被害が及ぶのではないかと危惧しているところがあります。

私は被害実態をお聞きし、早急に対策を考えなくてはいけないと思います。有識者、関係者、猟友関係者など幅広い分野の方々と、組織化を図るよう関係部課に指示しているところです。



↑イノシシ防護柵 (沖美町岡大王)

Q 自治会組織に対する取り組みは

住岡 淳一 議員

A 行政と一体となつて活発化

市長

Q 旧4町の自治会組織はどのような状況になっていますか。また、今後の望ましい組織とは。

旧4町の自治会組織はどのような状況になっていますか。また、今後の望ましい組織とは。旧4町では、現在コミュニティ推進協議会、区民会、協力員等の組織がある。今後、自主自立でその地域を盛り上げる地域運営システムの確立が必要不可欠になる。

今後の権限移譲とボランティア保険の導入は。市の権限移譲は今のところ考えていない。保険は、全体的な市の行事に対しては、行政上確立している。



↑区民による一斉清掃



↑被害を受けた水田 (点線部分) (能美町高田)

Q イノシシ被害対策を

林 久光 議員

A 総合的に有効な対策を講じる

市長

Q 能美・沖美・大柿地区では、イノシシ被害が年々拡大し、野菜や稲、みかん、畑の石垣等が容赦なく荒らされています。私が高田地区に限り調査した結果、野菜類50か所2.2ha、みかん51か所4.2ha、稲その他20か所2.0ha、合計で121か所8.4ha

の大きな被害になっていました。このままでは被災地域は全島に広がり、農業は大打撃を受けることとなります。この被害対策と、被害対策協議会等の組織の早急なる設置は。

行政も実態把握に努め、対策協議会等の組織立上げを前向きに検討します。また、国等の助成処置や、イノシシ生態の理解等総合的に有効な被害対策を講じたいと考えています。

Q 4町融和と自治組織の運営方針は

木戸 基夫 議員

A コミュニティの融和に向けて環境を整備

市長

Q 旧4町の融和を図るための方策と、自治組織の運営にどのような方針をお持ちか。

A 旧4町の融和を図るための方策と、自治組織の運営にどのような方針をお持ちか。また、各地域の状態を把握され、各支所を利用して、地域の活性化に努めてほしい。イベントには、全市から参加できるように、交通手段を確保するなどの配慮をお願いしたい。

また、自治組織の運営については、旧自治組織の活動を尊重しつつ、将来的には統一を図りたい。そのために、自治組織が主体的に議論ができる環境を整え、その議論に加わりたいと考えています。



↑協力し合って古紙リサイクル活動をする区民

Q 早急に「イノシシ被害対策協議会」を

山本 郁男 議員

A 各方面で組織化を図る

市長

Q 西能美地区は、イノシシ被害が年々拡大してきており、農作物を作物としても収穫ができないという現状が起き、就農意欲を無くしています。

また、中町・高田地区においては、民家の近くまでイノシシが出てきていて、高齢者や子どもたちに被害が及ぶのではないかと危惧しているところがあります。

私は被害実態をお聞きし、早急に対策を考えなくてはいけないと思います。有識者、関係者、猟友関係者など幅広い分野の方々と、組織化を図るよう関係部課に指示しているところです。



↑イノシシ防護柵 (沖美町岡大王)

Q 自治会組織に対する取り組みは

住岡 淳一 議員

A 行政と一体となつて活発化

市長

Q 旧4町の自治会組織はどのような状況になっていますか。また、今後の望ましい組織とは。

旧4町の自治会組織はどのような状況になっていますか。また、今後の望ましい組織とは。旧4町では、現在コミュニティ推進協議会、区民会、協力員等の組織がある。今後、自主自立でその地域を盛り上げる地域運営システムの確立が必要不可欠になる。

今後の権限移譲とボランティア保険の導入は。市の権限移譲は今のところ考えていない。保険は、全体的な市の行事に対しては、行政上確立している。



↑区民による一斉清掃



↑被害を受けた水田 (点線部分) (能美町高田)

Q イノシシ被害対策を

林 久光 議員

A 総合的に有効な対策を講じる

市長

Q 能美・沖美・大柿地区では、イノシシ被害が年々拡大し、野菜や稲、みかん、畑の石垣等が容赦なく荒らされています。私が高田地区に限り調査した結果、野菜類50か所2.2ha、みかん51か所4.2ha、稲その他20か所2.0ha、合計で121か所8.4ha

の大きな被害になっていました。このままでは被災地域は全島に広がり、農業は大打撃を受けることとなります。この被害対策と、被害対策協議会等の組織の早急なる設置は。

行政も実態把握に努め、対策協議会等の組織立上げを前向きに検討します。また、国等の助成処置や、イノシシ生態の理解等総合的に有効な被害対策を講じたいと考えています。



↑急がれる安全対策

Q 避難場所は安全か

道丹 報昭 議員

A 安全対策の向上を図る

市長

Q 今年、台風が過去最多の10個上陸し、また、新潟県中越地震が発生し、多くの人が被害を受けている。江田島の災害対策が気になります。

A 建物の内、耐震構造になっているのは何か所あるか、定員は何人を見込んでいるのか、震度7程度の地震をシミュレートした被害想定をしたことがあるのか。避難場所の耐震構造等災害対策に取り組むべきと考えるが。

Q 安全対策は、市民が安全で安心して暮らせることを基本と認識している。地域防災計画の中で106か所を避難場所に指定している。教育施設等(38か所)では、11か所が耐震基準に適合している。未対策の施設につ

いても耐震調査を実施し、安全対策を進める。全職員を対象に災害の対応と能力の向上を図る。

Q 各支所の機能は発揮されているか

太刀掛 隼則 議員

A 職員不足を全所員でカバー

市長

Q 支所の職員配置はどうか。現状で機能が発揮できるか。

じる。

Q 支所長の職務権限を聴く。

A 有能な人材を配置している。全所員で対応している。サービスが低下しないよう最大の努力をしているが、総合的に考えれば職員不足を感じる。

A 迅速な事務処理を願って権限の移譲を行っている。300万円以下の事業は支所に対応できる。

Q 各支所の遊休施設をいかに活用するか。

A コミュニティの場として有効利用を図る必要があると考えている。

Q 元江能広域事務組合庁舎・可燃ごみ焼却施設をどうするか。

A 建物の解体費等が莫大な費用となるので、財政状況と建設計画の整合性を検討する。焼却施設は解体し、古紙リサイクル・ヤードとして整備活用を図る。



↑住民サービスは大丈夫ですか

Q 財政難での新庁舎は必要か

鎌田 哲彰 議員

A 検討委員会を設置し、慎重に協議を

市長



↑仮本庁舎(旧能美町役場)

Q 新庁舎の必要性は十分に協議されていない。

A 現在の「T」社会の構築を考えると、何も一極集中の必要性はない。合併特例債は、国が全額くれるのではない。無駄な箱物は、造るべき

ではないと考えるが。

A まさに国・地方を通じての財政危機を迎え、シンボリックな新庁舎は、財政が許す範囲内で最低限度のものが必要と考えるが、新市建設計画に盛り込んだ

総額36億円も具体的には定まっていない。

住民主体のハード面が大事であるので、早急に議論をする機関を作りながら、財政面でがっちりとしたものを策定すべきであると考え

Q 江田島市の交通アクセスは

扇谷 照義 議員

A 関係機関と協議し、利便性の向上を図る

市長

Q 呉市や広島市に行くための交通アクセスについて、大柿町民は、大変不便を感じています。大柿町大君から柿浦経由で秋月を通る船便を考慮していただきたい。

現在、呉市に通勤する船が無くなると聞いています。新しく呉市へ行く船便を。また、バス便も大柿町から呉市や広島市に直行する便を考えてください。

A 船便についてもバス便にしても、アクセスが悪いと思います。関係者や住民ともよく話し合っ、バス便や船便運送関係者と協議し、よりよい路線ができるように

考えます。利用される市民とも協議をしまして、利便性を考えていきます。



↑活用できないか。呉方面への通勤船



↑シーサイド温泉のうみ

Q 制度の充実と負担の軽減は

片平 司 議員

A 市民の理解を得ながら検討

市長

Q 合併後も4町別々の介護保険料を統一すべきと思うがどうか。

A 国は、不均一賦課の取り扱いを認めていません。

Q 要介護者の島外病院への介護タクシー利用料金の負担軽減の施策を考えたときではないか。

A 通院負担の軽減対策として、交通機関での通院ができない65歳以上の寝たきり等の人を無料で送迎する。
Q 大柿町民適用の障害年金を全市に適用すべきと考えますがどうか。
A 平成17年度に限り支給額を半額にして、大柿

支所管内を対象に実施する方向。
Q 海水・海藻・温泉水など地元の資源を活用した健康増進施設とは何か。
A シーサイド温泉能美の源泉を利用したケアハウスなどの整備を計画中。
Q 障害のある人が障害のない人と同様に生活

し、ともに生き生きと活動できる社会を目指す「ノー・マライゼーション」の理念に向けたサービス基盤の整備を充実するとは何か。
A 指定居宅事業所である社会福祉協議会の理解を得ながら行う。

Q 同和行政の理念とその推進計画は

山本 一也 議員

A 指導者の育成と推進体制の充実強化を

市長

Q 私は、これまで「人類最大の差別は戦争である」と訴え、反戦、反核、反差別の運動に取り組んできました。

そのことは、市民一人ひとりが、「この街に住んでよかった」と実感できるような、人権を大切に

した街づくりであると考えますが、江田島市の同和行政の理念と、その推進計画は。

そのためには必要な指導者の育成と推進体制の充実強化に重点をおき、問題解決に取り組んでいきたい。

学習内容については、日常生活の中の不合理・矛盾に気付かされた多くの仲間が連帯し、お互いに理解することができ環境づくりに、力を注いでいく必要性を痛感しています。

基本的には、関係団体のご協力のもと、各町で長年積み上げてきた推進計画の継続、また、

そのために必要な指導者の育成と推進体制の充実強化に重点をおき、問題解決に取り組んでいきたい。

日常生活中的不合理・矛盾に気付かされた多くの仲間が連帯し、お互いに理解することができ環境づくりに、力を注いでいく必要性を痛感しています。



↑児童・生徒の人権ポスター作品

Q 長期総合計画の策定はいつか

道口 昭信 議員

A 平成17年度から2か年で段階的に

市長

Q 合併協議会は、新市を建設する基本方針を定め、住民福祉の向上等を図るため「新市建設計画」を策定した。

この計画の具体的な内容は、新市が策定する総合計画に委ねられている。この計画をいつ策定し、総合的な行政運営を図るための基本構想は、いつ議会へ提案するのか。

また、各種の計画に条例で議決事件として指定する考えはないか。

新市の総合計画は、平成17・18年度で策定したい。実現性の高い計画を策定するには、三位一体改革の動向等財政状況を精査し、財源の確保が必要である。このため、17年度に基本構想を策定し、議会提案



↑新市建設計画

Q NLP施設誘致に反対を!

石下 洋子 議員

A 住民の安全を守る立場から反対する

市長

Q 夜間離着陸訓練は、空母艦載機が出撃前に必ず行う訓練で、戦闘行為に直接つながり、平和と安全を脅かすだけでなく、夜間の激しい騒音は、住民に耐えがたい苦痛を与えます。何としても誘致に反対していただきたい。

住民の安全を守る立場から、誘致に反対する。

対しているが、このことに対して、どのように対処されるか。

路に広げるべきだと思っが、

Q 江田島町で操業している会社の産業廃棄物焼却炉設置に対して、地元住民は、莫大な量の廃棄物焼却による有害物質の排出で、環境汚染の恐れがあると反

許認可権のある県に、住民の意向をそのまま伝える。

財政上、広げることが困難。



↑廃棄処理施設反対の立看板

平成17年江田島市消防
出初式

総勢576人が参加し挙行!!



▲分列行進する隊員



▲能美運動公園に勢ぞろいし開式

▶大又地区自主防災会による
ケツリレ



▶新春の空に向け放水



▲小さな助っ人ありがとう（中町保育園幼年消防クラブ）



▶第1方面隊による消火訓練

編集後記

江田島市が誕生して初めての議会だよりが出来上がりました。議会広報誌は、住民の皆様へ議会の仕組みや活動の実態などを積極的にお知らせする情報公開の場です。

また、発行の目的は、住民の地方自治への参画意識の引き出し・掘り起こしであります。

私たち広報委員会10名は、一致協力して見やすく分かりやすく、親しみやすい広報誌になるよう努力してまいります。

住民の皆様のご意見、ご要望など、どしどし議会事務局までお寄せください。お待ちしております。

議会広報特別委員会
委員長 住岡 淳一

○発行
江田島市議会
○編集
議会広報
特別委員会

次の定例会は3月です。お気軽に傍聴にお越しください。

※問い合わせ先 江田島市議会事務局
〒737-2302 江田島市能美町鹿川 2011 番地 2 (江田島市農村環境改善センター内)
TEL (0823) 40-2241 FAX (0823) 40-2151